

本県の子どもたちの現状

待ったなしの危機的な状況

全国最低水準にあった児童生徒の学力・体力、生徒指導上の諸問題の状況

知

**H19年度
全国学力・学習状況調査**

- 小学校は37位
- 中学校は46位、全国平均を大きく下回る状況

徳

**H19年度
生徒指導上の諸問題の状況**

- 不登校出現率(小中)ワースト2位
- 暴力行為発生件数 ワースト2位
- 中途退学率 ワースト2位

体

**H20年度
全国体力・運動能力・運動習慣等調査**

- 小学校 男子47位 女子47位
- 中学校 男子45位 女子46位

これまでの取組の徹底検証

▶ **危機的な状況の改善に向けた教育改革を推進**

第1期高知県教育振興基本計画（H21～27年度）

H20～23年度

【緊急プラン】 学力向上・いじめ問題等対策計画

5つの改革

学校・学級改革、教員指導力改革、幼児教育改革、心の教育改革、放課後改革

- 学校経営計画（学校改善プラン）の策定が定着
- 家庭学習への取組状況が大幅に改善
- 小中学校の「放課後学びの場」が拡大

H24～27年度

【重点プラン】 高知県教育振興基本計画

3つの柱

力のある学校づくり、心を耕す教育の総合的な推進、「縦」「横」の繋がりの強化

- 小学校の学力は全国上位にまで向上
- 小学生の体力・運動能力がH27に初めて全国平均を上回る

進めてきた改革により、危機的な状況は着実に改善

なお残る様々な課題

知

- 小・中学校ともに、思考力、判断力、表現力の育成に課題

徳

- 暴力行為や小・中学校の不登校など、依然として厳しい状況

体

- 運動習慣や基本的な生活習慣の定着が不十分

教育再生実行会議

- H25.1月 知事が委員に就任、「**教育委員会制度等のあり方**」を提言
- H27.4月 改正地教行法の施行：新教育長、総合教育会議、教育大綱策定

総合教育会議

- H27年度 本県の教育の課題解決に向けて課題を深掘りし、**真に有効な対策**について、知事と教育委員会が6回にわたり議論

教育大綱

- H28.3月「**教育等の振興に関する施策の大綱**」策定【4年間の総合的な施策】
- 県教育委員会では、大綱の内容を踏まえ、より具体的な事業の実施計画等を盛り込んだ「**第2期高知県教育振興基本計画**」（平成28年度～平成31年度）を同時に策定

教育大綱の策定にあたり重点を置いた考え方

基本理念 ~目指すべき人間像~

学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち

- 知・徳・体の調和がとれた、自らの人生を切り拓き主体的に生きる力

郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材

- 先の見えない変化の激しい時代の中で、課題に挑戦し未来を切り拓く人材の育成

ポイント1

5つの取組の方向性に基づく施策の推進により、基本理念の実現を目指す

1 チーム学校の構築

2 厳しい環境にある子どもたちへの支援

3 地域との連携・協働

4 就学前教育の充実

5 生涯学び続ける環境づくり

ポイント2

理念にとどまらない**実行性ある具体策が必要** ▶ **取組の成果を測る基本目標を設定**

基本目標

知

- 小学校の学力は全国上位を維持し、更に上位を目指す [H27 : 国語 9位、算数 15位]
- 中学校の学力は全国平均以上に引き上げる [H27 : 国語 46位、数学 46位]
- 高校3年生の4月の学力定着把握検査におけるD3層の生徒の割合※を15%以下に引き下げる
※D3層 : 学習内容が十分定着しておらず、進学や就職の際に困難が生じることが予測される生徒の割合 [H27 : 30.4%]

徳

- 高等学校卒業者のうち進路未定で卒業する生徒の割合を3%以下にする [H27 : 6.3%]
- 生徒指導上の諸問題の状況を全国平均まで改善する [H27 : 暴力行為 リスト2位、不登校(小中) リスト1位]
- 児童生徒の道徳性意識調査結果で、全国平均を3ポイント以上上回る
[H27全国平均(6項目計)との差 : 小学校+0.28P、中学校+0.48P]

体

- 小学校の体力・運動能力は全国上位に、中学校の体力・運動能力は全国平均以上に引き上げる
[H27体力合計点 : 小学校 男子21位、女子21位 中学校 男子30位、女子45位]

ポイント3

毎年、大綱をバージョンアップ!

目標達成状況の**定期的な検証が必要** ▶ **PDCAサイクルに基づく進捗管理を徹底**